

ても、地域の現状を十分勘案し、浸透施設の設置を研究したい。

**通園通学路整備**

**問** 歩道のない主要道路での安全確保に万全を期されたい。

**市長** 特に危険な箇所を改良・改善するほか、路面標示や注意看板の設置により、歩行者やドライバーに注意の喚起を図っていききたい。

**問** 危険箇所の現状把握とその計画的な対策はどうか。

**市長** 学校単位で通学路調査を実施し、児童・生徒の通学状況を把握するとともに危険箇所の洗い出しを行っている。早急に安全を確保する必要がある箇所から順次整備を進めたい。



**児童生徒の学力向上**

**問** 基礎学力の向上には学校教育システムの変更だけでなく、学校を取り巻く地域社会の人間形成力の向上が不可欠と考えるが、このことをどのように捉えるのか、また、今後どのように取り組んでいくのか。

**教育長** 本市には大規模校が多く、1学級当たりの児童・生徒数が多くなっている点に一つの課題がありまます。今や家庭の教育力が低下し、本来家庭教育が担うべきしつけも学校に依存する家庭が少なくありません。これがもう一つの課題です。

基本的な生活習慣を身につける指導を幼少中高連携教育の3本柱の一つとして、幼稚園・保育園及び小学校低学年から継続的に指導を行っており、地域と家庭との連携に取り組んでいる。

個人  
質問 **加藤 弘**

**安全・安心**

**問** 本市における交通事故の現状と今後の対策はどうか。

**市長** 7月末日現在で、人身事故が336件、負傷者が444人となっております。

関係機関との連携を図り、街頭啓発や交通安全教室などの各種啓発活動及び交通事故多発箇所の現地診断を行うなどとして、交通事故抑止に取り組めます。

**問** 災害時に対応すべき防災訓練・避難訓練の現状と今後の対策はどうか。

**市長** 市民を対象とした地震防災研修、さらに防災訓練と内容や体制の整備を検討したい。

**文字・活字文化**

**問** 児童生徒の読み書きの力をどのように捉えているのか。

**教育長** 児童生徒の読解力や表現力が低下し、その背景として、児童生徒の読書時間の減少があることは否めないところです。

各小学校及び中学校においては、朝の時間帯等に読書の時間を位置づけ、読書の習慣をつけるように指導しています。

**問** 文字・活字文化振興法のなかで図書館における従来の枠を超えた運営・サービスが求められてきている

が、今後の積極的なサービスをどのように進めるのか。

**教育長** 法律の趣旨等を踏まえ、関係各課と連携を図りつつ、従来の枠を超えたサービスについて調査・研究したい。

**医療環境の充実**

**問** 小児科医・夜間対応可能病院はどのようになっているのか。

**市長** 成田市との協定により、成田市保健福祉会館内に設置されています。「成田市急病診療所」において、内科・小児科等受診できる診療体制が整備されています。

また、佐倉市との協定によりまして、小児の救急診療については、佐倉市健康



管理センター内に設置されています。「印旛郡小児初期急病診療所」において、15歳までの子どもの急な病気の夜間・休日診療体制が整備されています。

**問** 児童生徒の生活習慣病の実態と予防対策はどのようになっているのか。

**市長** 健診結果を活用し、子どもたちが正しい生活習慣を身につけることを支援するため、学校では、市内の小児科医の先生にアドバイスをいただきながら、さまざまな健康教育を行っています。

生活習慣は、児童と家庭が主体的に参加することにより、よりよい習慣が形成されると認識していることから、さらに保護者との連携を深め、予防教育を推進していきたい。

**自動体外式除細動器 (AED)**

**問** 印旛郡市及び本市におけるAEDの保有台数は



自動体外式除細動器とは・・・  
救急現場で一般市民が除細動を行えるように設計された装置です。電気パットを傷病者につけ、音声メッセージに従って操作することで除細動を実施することが可能です。

うか。本市における学校・公共施設等への設置計画はどうか。AED使用方法等、今後における市民への講習計画はどうか。

**市長** 佐倉市八街市酒々井町消防組合で保有している台数は、除細動器で15台、AEDで10台保有しており、本市の公共施設への設置は、今後設置の方向で検討したい。講習会は毎月第4日曜日に開催しており、その他、佐倉市八街市酒々井町消防組合管内の消防署でも毎月1回開催しています。